



山口まちづくり推進協議会だより
さわやか

第47号

回覧

令和3年4月30日発行
発行：山口まちづくり推進協議会
事務局：山口まちづくりセンター
Tel: 04-2924-1224

祝 新たな一步を踏み出した 新成人
コロナ禍で2カ月遅れ 式典のみの静かな成人のつどいでした

3月20日（土祝）上山口中学校体育館において、第74回「山口地区成人のつどい」が開催され、新成人が新たな一步を踏み出しました。当初、成人の日の1月11日（月祝）に実施する予定でしたが、コロナ禍の影響で延期となっていました。対象となる新成人は249名。当日は230名（山口地区以外からの出席者も含む）の参加でした。入場の際には入り口での本人確認、検温、手指消毒を行い、また、演壇の頻繁な消毒、座席は1m以上の間隔をとるなど最大限の感染対策が取られました。

つどいに参加した新成人のマナーがとてもよく、式典は静かに進行しました。新成人を代表して、千葉 涼太郎さんと大久保 沙紀さんが「これからは、人のため、社会のために動ける人間になれるよう、日々精進していきたい」と誓い、式典は30分程度で終了しました。会場を出てしばらくの間、スーツや晴れ着にマスク姿の新成人たちは、仲間との久しぶりの再会を楽しんでいる様子でした。



山口の出席率 92.4%は市内屈指です。



いつまでも優しい心を忘れずに。



跳べ！ 新成人。

祝 卒業・入学 おめでとう！

3月15日（月）中学校、25日（水）小学校で卒業式が、また一足早く桜が満開を迎えた後の4月8日（木）には入学式が執り行われました。どちらもマスクを付けていても笑顔が溢れていました。卒業式は緊急事態宣言の延長で保護者の参列に影響がでるか心配されましたが、どちらも保護者の方は1名参加でき検温・消毒の感染対策もされました。

今年もコロナ禍での生活となりそうですが、1度しかない式典が今後開催できます様に・・・卒業、入学おめでとうございます！



※右の写真は山口中から提供頂きました。今日は最後の登校、卒業おめでとう！



思い出を心の糧に新たな巣立ちです。

学校・PTA・地域が連携して子どもたちの安全を見守っています

小学1年生の大きなランドセルには夢がいっぱい、しかし家族の皆さんにとっては交通事故や不審者による犯罪などに巻き込まれないかとの不安もあるのではないのでしょうか。

山口地区では小中学校・PTA・地域の皆さんが連携して、小学生の登下校見守り、夏冬の安全パトロール、「駆け込み 110番の家」の看板掲示などを行い、日頃から子どもたちの安全を見守っています。

登下校時の見守りボランティアを募集中！ お子さん・お孫さんの安全のため、また、ご自身の健康のためにも、ぜひ御参加・御協力下さい。



怖いときにはこの看板のある家に駆け込み。

山口ほほえみウォーキングマップ第2版を配布中

山口ほほえみマップは、山口地区をもっと知っていただき、併せて皆さんに歩いて健康を維持していただくということを目的として、山口まちづくりセンターを訪れた地域の方々のご意見や、市史、山口地区の石造物などの資料を参考にして平成31年3月に完成しました。（作成：学習文化部会、協力：山口民俗資料保存会）

初版5,000部は約1年で品薄となり、令和2年7月には第2版3,000部を増刷、現在配布中です。最近では、このマップを持って歩いておられる方々に遭遇することも珍しくありません。3月には「狭山湖ふれあい橋」が完成し、ますます楽しく安全に山口を歩くことができるようになりました。（下記記事）また、3月25日（木）にはこの山口ほほえみマップを使ったウォーキングが行われました。（下記記事）

このマップはスマホやタブレットでも見るすることができます。紙より多い情報が掲載されているので、右のQRコードを読み取ってご利用下さい。PCからは、山口まちづくり推進協議会のホームページの山口MAPから見るすることができます。



片手に収まる大きさですが、拡げればA2版です。

ウォーキングマップを使って歴史と自然を探索

3月25日（木）、山口ほほえみウォーキングマップを使い自然と歴史の探索ウォーキングが実施されました。（主催：学習文化部会・山口まちづくりセンター、協力：山口民俗資料保存会）コロナ禍の中人数制限をし、16名が参加しました。下山口駅に集合し参加者の体調と体温を確認後、里山クレストコース（下山口駅から5.6km）を歩きました。桜淵地蔵や民俗資料館など、コースの見どころでは神藤まちづくり推進協議会会長、小山村民俗資料館館長から、たいへん分かり易い説明があり、時代を超えて歴史のロマンの中に入ることができました。



ミツコ桜は少し散り始めていました。

これで安全に「狭山湖ふれあい橋」完成

3月28日（日）、「狭山湖ふれあい橋」の渡り初め式典が行われました。これまで北野のメガソーラーの脇を通って狭山湖へ行く際は、見通しが悪く信号もない危険な道路を横断しなければなりませんでした。が、「狭山湖ふれあい橋」の完成により安全に狭山湖へ行けるようになりました。また、この橋は写真のように階段や急坂がなく、人に優しく作られています。

43号で4名の愛称採用者の中に山口地区の方は含まれていないとお伝えしましたが、1名は山口地区の方でした。訂正とお詫びをさせていただきます。



渡り初めの日も「狭山湖ふれあい橋」の下を通る車は途絶えませんでした。

山口紹介ビデオ完成 まちセンロビーで放映中

所沢市自治連合会では「地域をつなぐ自治会・町内会」と題した各地区の紹介ビデオを作成することになりました。山口地区では、自治連合会とまちづくり推進協議会、まちづくりセンターが協力し「水とみどりと生きる、歴史をつなぐ山口」と題したビデオを製作しました。3分間という短い時間ですが、まちづくりセンター職員の名演技？により狭山湖をはじめとする山口の豊かな自然、岩崎鯉獅子舞や夏祭りなどを詩情豊かに紹介しています。



ワイワイガヤガヤ ビデオを作成中。

オンラインで繋がろう！ 山口包括は今年度もスマホ教室などを開催予定

コロナウイルスの影響で私たちの生活は一変し、たわいのない会話や外出など、今まで通りの楽しみが制限されています。そこで今注目されているのはインターネット回線を利用したオンラインサービスの利用です。スマートフォンは若い人のもの！スマートフォンを持っていても使い方が分からない、聞ける人が身近にいない！変な請求がくるから使わない、そもそも言葉が分からないと不安は大きいのは確かです。

しかし怖がるばかりでは宝の持ち腐れです。安全な操作方法での利用で生活が便利で楽しく豊かになります。包括支援センターでは、昨年に引き続きスマホ教室やZoom説明会を開催予定です。コロナに負けず一歩一歩一緒に前進していきましょう！（寄稿 山口地域包括支援センター生活支援コーディネーター 長田珠子氏）

忘れるな 3.11 町谷自治会有志の10年に渡る義援金に石巻市長から礼状

今年は東日本大震災発生から10年の節目、あの日の悲惨な出来事を忘れないため様々なイベントが催され、マスコミでも大きく取り上げました。町谷自治会の有志は10年に渡り文化祭などで「忘れるな 3.11 募金」を行い、石巻市へ義援金を送り続けてきました。金額的にはささやかな支援ですが、この春亀山市長から心温まる礼状が届きました。礼状の内容はまちづくりセンターロビーに掲示しますのでぜひご覧下さい。被災地への思いやりをいつまでも忘れず、また自らの災害に対する備えを再認識するきっかけとなれば幸いです。

平安時代にさかのぼる 山口小 校章の由来

山口小は明治6年(1873)に開校し、令和5年には開校150年を迎えます[※])。校章の由来は古く平安時代にさかのぼります。

伝説によると、今から約千二百年前(平安時代初頭)弘法大師空海が東国を修行して歩かれた折に、当地において三尊阿弥陀仏如来を刻まれ、そのしるしに現在の翁樹神社に菩提樹を植えられたそうです(菩提山密厳院仏國寺石碑)。校章はこの伝説に基づき菩提樹の葉をもとにデザインされ、昭和27年に制定されました。3つの玉は菩提樹の実を表しています。
[※])山口小学校ホームページ。由来については吉川校長に現物を拝見させて頂き、写真撮影などにご協力頂きました。

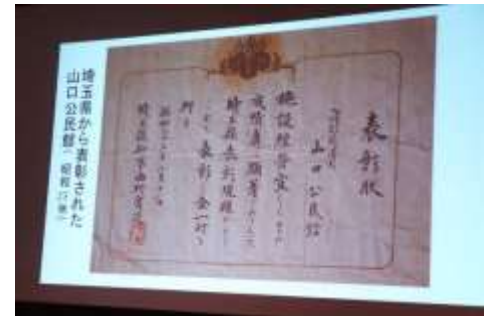


校章の制定を記した貴重な資料です。

現在の山口文化の源流を発見 山口歴史講座

3月24日(水)、山口まちづくりセンターで「所沢市政70周年と山口」と題し、山口歴史講座Ⅲが開催されました。(主催：山口まちづくり推進協議会・山口まちづくりセンター、参加者：79名)講師は所沢市生涯学習推進センター職員の木村立彦氏、市史編纂など、郷土の歴史保存に長い間携わってきた方です。

講演では、戦後から今日まで大きく変貌を遂げてきた所沢市と山口の70年を振り返りました。昭和20年代から先進的に活動をしてきた山口公民館や活発に文芸活動を行っていた当時の青年の意気込みに現在の山口文化の源流を感じました。



昭和23年、山口公民館は県から表彰。

シリーズ④⑥ 行って見よう 山口の自然と歴史 もっと知ろう! 「桜淵延命地藏尊」その1 地藏尊ができた請れは…涙なくして聞けぬもの

山口地区町谷の柳瀬川桜淵橋のたもとに小さなお堂があります。春ともなれば桜の木に包まれた、このあたりは散歩道としてお勧めです。お堂に祀られているお地藏様にまつわる話はふるさと所沢の昔話として紹介され、所沢市史や語り部(かたりべ)によって云い伝えられています。「涙なくして聞けぬもの」物語です。

その一部をご紹介します。今から約200年位前にさかのぼった江戸時代後期のお話しです。町谷に「かね善」という染物屋がありました。主人の善兵衛は手広く商売をしていました。吉之助という息子がいて、とても働き者で、お嫁になりたいという娘が多く、村中の評判でした。左衛門の娘おりんは新堀小町と言われる美人で吉之助と結ばれ、幸福者と村中の評判でした。

やがておりんは男の子を産みました。善兵衛は男の子が生まれたのに喜ぶこともなく財産をつくることばかりで、おりんはつらい思いをしていました。

次号へ続く。赤ん坊の男の子とおりん、その家族の悲話をお伝えします。(寄稿 神藤年三氏)



春爛漫の桜淵地藏尊堂



お堂の中の地藏尊

新型コロナワクチン詐欺に注意!

「ワクチン接種を受けるために10万円を振り込むように」など、保健所や自治体職員を装って金銭や個人情報等を騙し取ろうとする不審電話が確認されています。ワクチンの接種費用は無料です。

相談は「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」(Tel: 0120-797-188)で受け付けています。

山口地区の催し物情報・参加者募集

新型コロナウイルス感染防止のため催し物が中止されることがあります。詳しくは各問合せ先にてご確認下さい。

催し物の名称・主催	日時・場所・内容	募集内容・申込み
子育て広場 共催：母子愛育班・更生保護女性会・民生委員児童委員協議会・山口まちづくりセンター	日時 5月以降未定。場合によっては中止となります。詳細はまちづくりセンターへお問合せ下さい。 場所 山口まちづくりセンター（和室） 内容 乳児の子育て支援と交流	対象 乳児とその保護者 申込み 詳細はお問合せ下さい。 参加費 無料
こどもと大人の囲碁入門教室 共催：山口囲碁クラブ・山口まちづくりセンター	日時 5月以降未定。場合によっては中止となります。詳細はまちづくりセンターへお問合せ下さい。 場所 山口まちづくりセンター（和室）	対象 子ども、保護者、成人 申込み 詳細はお問合せ下さい。 参加費 無料
山口子ども文庫おはなし会 共催：山口子ども文庫おはなし会・山口まちづくりセンター	日時 本の貸し出し：5月1日、8日、15日、22日、6月5日、12日、19日、26日、7月10日、17日、24日（毎月第1週～第4週の土曜日）午前10時～12時 おはなし会：5月1日、6月5日、7月10日 場所 山口まちづくりセンター（学習室3号）	
元気いきいき健康講座 主催：保健センター健康づくり支援課	日時 6月9日（水）午前10時～ *受付：午前9時45分～ 場所 山口まちづくりセンター（ホール） 内容 自分の身体を知ろう！～健診結果の見方～	対象 成人（定員15名） 参加費 無料 申込み 事前申込制 問合せ 保健センター健康づくり支援課（Tel.2991-1813）
山口とこしゃんくらぶ 共催：山口地域包括支援センター・山口まちづくりセンター	調整中。	
地域交流会めくもい広場 主催：山口まちづくりセンター	日時 5月以降未定。場合によっては中止となります。詳細はまちづくりセンターへお問合せ下さい。 場所 山口まちづくりセンター（学習室2号） 内容 交流と仲間づくり	対象 高齢者と障害のある方 申込み 詳細はお問合せ下さい。 参加費 100円（当日いただきます）
子どもフラワー教室（全7回） 主催：山口まちづくりセンター	日時 5月22日から12月11日 原則第2土曜日、午前10時～11時30分 場所 山口まちづくりセンター（学習室2号） 内容 伝統の生け花とフラワーアレンジメントの講座です。 新型コロナウイルス感染状況により、中止となる場合があります。ご了承下さい。	対象 小学1年～中学3年まで 定員 先着7名 申込み 4月8日（木）午前9時～ 問合せ 山口まちづくりセンター
図書館おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 5月8日、22日、6月12日、26日、7月10日、24日（それぞれ土曜日）午前10時30分開場 内容 すばなし、てあそび、絵本読み聞かせ、工作など 場所 所沢図書館椿峰分館	対象 4歳以上（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（Tel.2924-8041）
図書館親子おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 5月19日（水）、6月6日（日）、7月21日（水）午前11時開始 内容 てあそび、わらべうた、絵本読み聞かせ 場所 所沢図書館椿峰分館	対象 0歳から3歳まで（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（Tel.2924-8041）

山口公民館利用サークル連絡協議会が3月末に解散、37年間に渡る活動の幕を閉じました。

山口公民館利用サークル連絡協議会は昭和59年(1984)にサークルと公民館との橋渡しを目的として発足し、サークル活動の活性化、文化祭の開催運営など、幅広い事業に取り組んできましたが、現時点で所期の目的を達成し、役割を終えたとの判断に至り、解散することになりました。今後、事業の一部は山口公民館サークル協力会に引き継がれます。

山口まちづくりセンターでは、3月31日付で山崎 裕司さん、斎藤 勝子さんが退職され、平岡 真由美さんが異動となりました。日頃いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

4月1日から、根本 忠秀さん、五十嵐 和美さん、近藤 玲子さん、上松 智之さんが着任しました。よろしくお願い致します。

編集後記

山口歴史講座で、山口地区では戦後間もない混乱期においても先進的に文化活動が行っていた人たちがいたことを知り、たいへん感激しました。「さわやか」もこの伝統を引き継ぎ、現在の山口を後世に伝える一助になりたいと思います。数十年後、百年後の人たちが「さわやか」を見て、どのように思うのか興味深いです。

広報委員：新居亨一（地域環境部会）、渡辺栄一（地域振興部会）、前田克夫（地域福祉部会）、杉浦佳子（青少年育成部会）、遠藤健志（学習文化部会）、本橋由和（地域安全部会）



